



11月の到来、木枯らし吹きすさび木々から舞い落ちる枯葉は、寒風に身を任せふわりと着地。そんな季節になったと深まりゆく秋を感じるどころか、上旬の3連休は汗ばむ日でした。日増しに、朝まだきは、冷え込み、肌身がぐっと引き締まる時期となり、とうとう、西日本でも13日には鳥取県大山で11月としては35年ぶりの40cm超、伊吹山でも初冠雪を観測されたようです。

今年の夏の異常な暑さだったから、ひょっとすると暖冬な冬になるのかもと思っていましたが、そうは問屋が卸してくれないようです。暑かったり、寒かったり、寒暖の差は、体調に異変を来すこともありますので、健康管理して乗り切りましょう。子どもたちの疲れをしらない活動ぶりを見ていただき、元気になりましょう！

<幼保で友達と遊び、小学校で体育や運動、

そして中学校の部活動で力を発揮！>

—応援ありがとうございました。—

秋季大会の結果10月21～22日

- ソフトボール部 1-35 対大宮
- 陸上競技部

男子2年 400m **優勝** 給田 洸雅 54秒84 **新記録**

男子2年 走幅跳 **優勝** 中江 京一 5m17

男子共通4×100m **優勝** 中江京一、大久保拓志、溝尻寛太、給田洸雅

- 卓球部 団体戦 0-3 対峰山 1-3 大宮 0-3 網野
- バレーボール部 0-2 久美浜 1-2 大宮
- バスケットボール部 **準優勝** 63-38 大宮 50-44 峰山 24-57 久美浜



◆各部の代表から、全校生徒へ大会結果の報告の後、藤原校長より賞状の伝達がありました。

初めての公式戦で惜敗したチームは、「捲土重来を期す」と気持ちをひとつにして再始動しています。

<ふれあい交流会 町内小・中学校特別支援学級 11月8日> 丹後中

- 子どもたちが、考えて作った「すごろくのコース(なぞなぞあり)」ができあがり3チームに分かれて楽しみました。ペットボトルをピンに仕立てたボーリングや数字の書かれた的当て、玉入れ等でも小中の児童生徒が交流しました。



～出題されたなぞなぞです、答えは裏面にあります。～

*①かいは、かいても使うと減るもの何? *②色とりどり、いととはりが大のなかよしは何?

*③てらは、てらでもお坊さんのいないてらは? *④とっても、とっても減らないものは何?

- 丹後小からは、児童が先生役と児童の役を演じて、発見・探求する学習風景を披露しました。宇川小からは、世界地図や日本地図から学んだ名称を紹介したり、太陽の周りの惑星等をクイズとして出題したりしながら、説明がありました。最後に中学校からは、小学生のみんなへ「丹後中学校の生活のながれと校舎内」を映像とともに紹介しました。





←・本日の振り返りとして、各チームに分かれて話し合いをしました。中学生が、リーダーとなり、タブレットを活用してまとめ、発表しました。

【なぞなぞの答え↓】

*①お小遣い *②釘 *③カステラ *④相撲

10月26日、丹後学園小中一貫校PTA教育講演会

<演題：『非認知能力の育て方 ～家庭教育の重要性～』>

<講師：佛教大学副学長・教育学部教授 原 清治 氏>

・生きる力とは、テストの点がよいだけでは十分でないことをわかりやすく、ユーモラスに富んだお話を聴かせていただきました。子どもやたちにとって、

コロナ禍の影響は学力の格差だけでなく、学校行事の中止などによる「体験」の喪失にもつながったこと、子ども成長には非認知能力の育成（小さいうちから）が必要であること等を学んだ講演会でした。



*認知能力：測ることができるテストの点のように目にできる力

*非認知能力：目に見えない感情や心の働き・・・意欲、忍耐力、自制心、創造性、

回復力、対処能力等



<参加者の感想>

● 来る直前まで行くかどうか迷っていたけど、本当に来てよかった。

原先生のお話を聴いて「非認知能力」の育て方について楽しく考えることができた。自分の行動や発言で子どもをつぶさないよう、成長を見守りたいな、と思います。原先生のファンになりました。来年の講演を楽しみに、また行きたいと思います。



●子育てをする前に今日の講演を聴いていたなら、もうちょっと早く子育てができていただろうな。わが子たちは、きっと、もっと

充実した毎日を送ることができたらうに……。自分の子育てが悔やまれてなりません、そんな気になりました。

子どもの生きる力を育むのは、「褒めること」が大きな要因になっているものとお話を聴き痛感しました。自分自身の生きてきた環境や生活体験、学び等により、できあがった自分の性格を考えると子どもを前にして、なかなか素直に褒めることができませんでした。しかし、先生がお話されていたように褒められるのは、子どもも大人もうれしいもの。無器用な褒め方しかできないと思いますが、こっそり孫相手に話してみますかね。孫は、ちょうど今日が4か月ですが……。良いお話ありがとうございました。

● 子どもにも聴かせたいお話でした。ありがとうございました。



● 終始、笑いのあるお話で引きこまれました。「非認知能力は、家庭において育てられること」。親として、**どんな言葉遣いや態度でわが子に接するかを改めて考えさせられるよい機会**になりました。来年も再来年も参加します！！

● アッという間の 90 分間でした。楽しくわかりやすかったです。今後、**家での話し方等見直すこと**がたくさんあると反省しながら日々子どもたちと向き合えたらと思いました。忙しい中で講演ありがとうございました。

● 丹後の子どもの弱いところや丹後の親の弱点が、おもしろいくらい自分や自分の親にあてはまるなと感じました。ただ、私は大学生になったときに、いろいろな体験や経験を親が介入できない遠い土地でできたことにより、**非認知能力**が伸びたように感じます。しかし、**早いうちから体験をしておくこと**がやはり大切だと思うので、今後の実践に参考にしていきたいと思います。



● わが子 3 人の性格が、原先生の言われるとおりででした。また、機会があれば講演を聴かせていただきたいです。**役員だから出席した感じが否めませんが、これまで出席しなかった自分を恨みます。**

● 初めて講演会に参加しましたが、わかりやすい話し方であっという間の時間でした。丹後の学生は、**先を見通す力が弱い傾向**にあるということもわかり、力をつけていけるように学びの道を子どもが進んで行くことを後押ししたいと思います。(子どもの力を信じ、河原町まで後をつけ見守って行く気持ちでいきたいと思います。)

● 原先生の人柄が本当に良く、楽しく話を聴かせていただき、とてもうなづけるお話でした。丹後学園(保・幼・小・中学校)の中でも「つながること」を考えて取り組んでいます、とても大事なことと感じます。また、一番、非認知能力が伸ばせる大切な時期を逃さず充分伸ばせるよう、**体験させたり言葉かけを丁寧**にしたりしていきたいです。原先生のように相手を褒めてい

い気持ちにさせられる人間になれるよう頑張ってお返ししていきたいです。ありがとうございました。



● 非認知能力という言い方は、最近よく多様されるがその中身は今までからずっと大切にされてきた。改めて家庭や地域でその環境を整えることの重要性を再認識した。自然はあっても伝統以外の文化資本に乏しい丹後地方では、よほど**大人が心しない**と**体験ができない**とずっと思っている。

● **しっかりとした言葉で、親子の会話**をしたいと思いました。子どもも大きくなり子どもの時間もあろうと遠慮して・・・というところがあって、短い言葉での会話(やりとり)が増えました。**日本語らしい日本語でしっかり会話**をすることを今度から気をつけていきます。ありがとうございました。

<学習発表会11月12日>

宇川小



リズムに合わせて歌って踊って
仲間と練習した成果を披露。
学習した後、興味関心あることを
各自が深く調べ、堂々と発表！

丹後小



学習した作品の感動を形にするために
演劇あり、抑揚をつけた
呼びかけあり、楽器演奏ありで、
登場人物の心情を表現！

<なかよし交流会 5歳児と2小学1年生の交流11月14日 丹後小>



「幼稚園教育の基本」の紹介

⇒ 生涯にわたる人格形成の基礎を培う
重要なものであり、幼稚園教育は、学校教育
法に規定する目的及び目標を達成する
ため、幼児期の特性を踏まえ、環境を通
して行うことを基本とする。

①幼児安定した情緒の下で自己を十分に
発達することにより発達に必要な体験を
得ていくものであることを考慮して、幼

児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい生活が展開されるようにすること。

②幼児の自発的な活動としての遊びは、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学習であることを考慮して、遊びを通しての指導を中心として総合的に達成されるようにすること。

③幼児の発達には、心身の諸側面が相互に関連し合い、多様な経過をたどって成し遂げられていくものであることを、また、幼児の生活経験がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。【引用：幼稚園教育要領総則】

5歳児の子どもたちは、来年は小学生！

◆交流会では、宇川小、丹後小の1年生たちが、5歳児のお友達をやさしく迎え入れた後、開会のあいさつを宇川小学校の代表（児童）が実に堂々とハキハキとした口調で開会挨拶をしました。



遊びのルール説明もみんなにわかるように丁寧に行い、宇川保育所、丹後こども園からの参加したお友達は、静かに聞いていました。ふだんの学びや指導（前述総則）が活かされた活動となり、会場いっぱいに、なかよしの花が咲きました。

*保護者・学校関係者（学校運営協議議会委員、学校評議員、民生児童委員協議会委員）の皆様、学園評価アンケートお世話になります。お手数ですが、ご協力お願いいたします。結果を分析し、今後の教育活動の参考にさせていただきます。よろしくお願いいたします。

※二次元コードをご活用ください。HPでも見ることができます。

